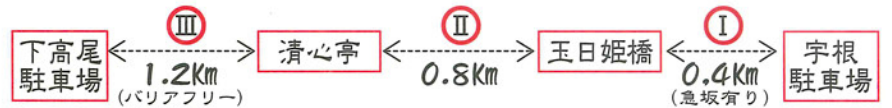


# 天下の奇勝 おにのしたぶるい 鬼の舌震 散策案内図



●車椅子・高齢者の方は(Ⅲ)区間の往復をおすすめします。(所用時間45分～1時間)  
 ●観光バス利用の方は、下高尾駐車場下車～(Ⅲ)～(Ⅱ)～(Ⅰ)～宇根駐車場乗車をおすすめします。(所用時間1時間～1時間15分)  
 ※下高尾駐車場～(県道25号線)～宇根駐車場間は、徒歩で約30分かかります。



明治のわが国南画界の第一人者田能村直入、明治く昭和の歌人と謝野寛(鉄幹)・晶子夫妻、島根県出身の昭和初めの南画家で東京で活躍した木村樓雲など、それぞれがこの地の印象を作品にし、絲原記念館に残されています。

紫の水のつとふは  
目におかず  
並べる岩の  
くはだつること  
晶子

与謝野夫妻が詠んだ  
鬼の舌震



したい山  
まことに誰を  
したふらん  
清き涙の  
岩こえて鳴る  
寛(鉄幹)

## 大自然の造形美 奇岩・巨岩のいろいろ

鬼の舌震は黒雲母花崗岩地帯で、これを斐伊川の支流大馬木川の急流が長年にわたり浸食して造り上げていった約2kmにわたるV字渓谷です。

- ①長淵：花崗岩の岩肌からなる溪流により浸食された淵。
- ②烏帽子岩：苔むし泰然と反り気味にそそり立つ巨岩で、その形状から烏帽子岩とよばれます。
- ③雨壺：別名「姫の湯殿」と呼ばれる大きな陥穴のある岩。
- ④小天狗岩：その形状が烏帽子をかぶり口を突き出した烏天狗に似た、約60mにも及ぶ絶壁。
- ⑤はんど岩：この渓谷で最も著名な岩。形が普水を入れておいた水瓶(飯銅)に似ていることから名付けられました。
- ⑥畳岩：大きな平面をもつ岩。

- ⑦舟岩剣岩：全長7mの船先を点に向かって突き出した舟のような岩。古くは「天の岩舟」、軍国主義華やかな時代には「軍艦岩」といわれていました。これは下流部を見ると切っ先鋭い剣にも見えるため、別名「剣岩」ともいわれています。
- ⑧大天狗岩：高さ80mにも及ぶ断崖絶壁。岩間に生える原生樹にふちどられたこの大天狗をたてに水量が増した折り、巨岩の群は、激流を砕き、虹を含んだ水煙をもうもうとあげます。
- ⑨千畳敷：岩が板状に節理したこの渓谷で最大の平面を持つ岩。
- ⑩牛の首：鬼の舌震を大きな牛に例えたゴーゴーという音とともに水煙を上げて流れる。

**おにのしたぶるいって？**  
 鬼の舌震という呼び名の由来は古く、天平5年(733)に編纂された『出雲国風土記』の戀山の項に、「阿伊の里に住む玉日女命という美しい女神を恋慕った日本海の和仁(サメ)が、夜な夜な斐伊川を通り来たが、これを嫌った姫が巨岩で川をせき止め、ワニを阻んだところ、ワニは一層姫を恋慕った」とあり、この「ワニのしたふ」が転訛したものとされています。また、「この地の断崖絶壁に驚いたワニが舌を震わせた」からだとも言い伝えられています。